

人推協だより ほっと・あい 第202号

愛荘町人権教育推進協議会

問 (事務局) 教育委員会生涯学習課内 (秦荘庁舎)
☎0749-37-8055 FAX0749-37-4192

学校関係部会の取組

学校関係部会は、町内の保育園・幼稚園・小学校・中学校・愛知高等学校・愛知高等養護学校の全教職員で組織しています。本年度も、人権尊重の意識の高揚を図り、各校園の独自性と一貫性を生かした人権教育の深化と広がりを求めるとともに、学力向上・進路指導の充実拡充および、家族・地域ぐるみの人権教育の充実と広がりを求める実践に取り組んでいます。

【活動方針】

- ・教職員が人権に対する正しい理解と認識を身に付け、人権感覚を高め、人権問題を的確にとらえる技能や態度を身に付けるために各校・園の教職員研修の充実を図ります。
- ・子ども一人ひとりに人権問題を学ぶための基礎となる力や、同和問題をはじめとする様々な人権問題についての正しい理解と認識を培い、人権尊重の実践的態度を育成するために人権・同和教育の推進に努めます。

令和4年度の研修会紹介

【転任・新任教職員現地研修】

とき：6月17日 (金) 15:15～16:45
会場：川久保地域総合センター

今年度愛荘町に新任・転任してこられた教員を対象に研修会がありました。地域の概要や、センターの取組、歴史についてお話を聞きました。「保愛館」として親しまれ、ふれあいを深める地域の活動について詳しく説明していただく中で、地域の現状・思い、教育の役割等について学び、日々の保育・教育実践に活かせる研修となりました。

【先進地研修会】

とき：7月29日 (金) 9:30～11:30
会場：虎姫教育集会所 (長浜市)

虎姫では、地域の特徴を活かして小中連携を取ったり、自尊感情に関するアンケートや学力調査について分析したりしていました。また、自尊感情と学力の相関関係について調査し、子どもたちの支援に役立てておられたりするなど、今後各校で取り組んでいきたいと思うことがたくさんありました。フィールドワークでは、実際に足を運んで子どもたちの生活している地域を知ることがよりよい児童理解、支援につながっていくことを実感しました。

【全教職員の研修会】

とき：8月23日 (火) 14:00～15:30
会場：ハーティーセンター秦荘大ホール

今年度の全員研修会は、滋賀県人権センター四方 康博氏を講師に招いて、講演会を開催しました。「学校教育における自尊感情を高める取組について」という演題のもと、改めて自尊感情について学ぶ機会となりました。

【公開授業を通した研究会】

とき：10月20日 (木)
場所：愛知川幼稚園
内容：「やってみよう やってみよう もっともってやってみよう」～ものとかかわって繰り返し遊びこむためには～

とき：11月9日 (水)
場所：愛知川小学校
内容：道徳「愛してくれてありがとう」

とき：11月22日 (火)
場所：秦荘東小学校
内容：道徳「知らない間のできごと」

【公開授業を通しての全員研修会】

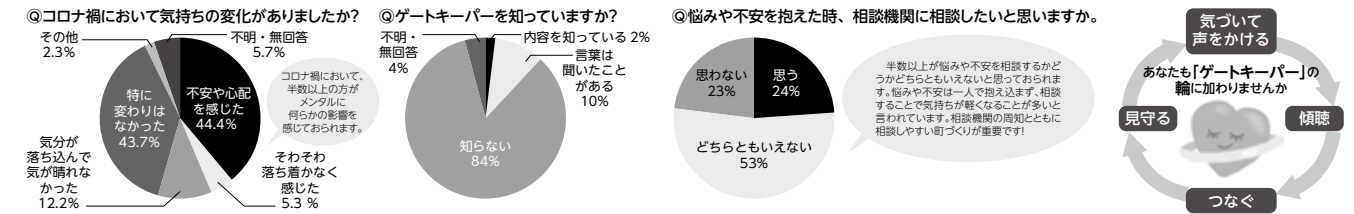
中学校区別に全員研修会を開催。授業参観後、分散会に分かれ意見交流を行いました。

とき：11月2日 (水)
場所：秦荘中学校 (秦荘地区)
内容：道徳「ちがいのちがい」



3月は自殺対策強化月間です

愛荘町では、誰もが命の大切さを理解し、支え合える地域をつくるため、「愛荘町のち支え愛プラン」をつくり、取組を進めています。11月に実施しました、次期計画の住民意識調査にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。調査結果の一部を掲載します。



ゲートキーパー (いのちの門番) とは？

悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなぎ、見守る人のことを「ゲートキーパー」といいます。誰もがなることができる役割です。
声をかけ、話を聴き、一緒に考えることは、心と命を守るために一番大切な「孤立を防ぐ」ことにつながります。

気づいて声をかける

家族や友人の様子が「いつもと違う」と感じたことはありませんか？

◆ 周囲が気づく変化 ◆

食欲…体重が減ったように見える
睡眠…よく眠れていないようだ
お酒…量が増えているようだ、二日酔いがある
表情や声の調子…口数が減った、暗い、突然泣き出したり、感情を爆発させるなど、感情が不安定

「死にたい」発言や暗示させる発言…「消えてしまいたい」

交流…人を避けるようになる、集まりにでてこなくなる、好きだったことに参加しなくなる

傾聴

話をじっくり聴いて本人の気持ちを肯定的に受け止めましょう

◆ 傾聴のポイント ◆

★ あいづち、うなずき
「あなたのことを聴いていますよ」ということを伝えます。

★ 開かれた言葉
「はい」「いいえ」で答えられない質問をします。

★ 肯定
相手の気持ちや考えを認めます。

★ くりかえす
相手の話の中の大事な言葉「キーワード」を繰り返します。

★ ねぎらいの言葉
「大変な思いされたのですね」「そういう風に考えてしまうのですね。それは辛いよね」「話づらいことを話して下さったことへの労いと感謝を伝えます。

◆ 避けたい言葉 ◆

★ 励ます
(例)「いつまでも悩んでいてはいけない」「早く元気になってください」

★ 悩みを小さく表現したり、他と比べる
(例)「あなただけではない、他にも苦しんでいる人はいる」

★ アドバイスする
(例)「こうすればいいんじゃないですか。絶対そうの方がいい」

つなぐ

ゲートキーパー自身がつなぐことを意識しながら、適切な相談窓口の存在を伝えます。

(例)「相談機関に相談してみるのはいかがでしょうか」「借金の相談にのってくれる専門の窓口もあります」

見守る

解決に進むときもあれば、時間がかかったり一筋縄ではいかないこともあります。一見、元気そうにみえても、困った状況は続いているかもしれません。声をかけ、見守りましょう。

(例)「あれからどうなったかお話を聞かせてくださいね」「その後いかがですか」「これからも一緒に考えていきましょうね」

＜制作監修＞ 滋賀県立精神保健福祉センター滋賀県ゲートキーパー養成プロジェクト会議

自殺予防電話 ☎077-566-4326
9時から21時 (年末年始を除く)
こころの電話 ☎077-567-5560
平日10時～12時、13時～21時

詳しくはQRコードからご確認ください▶



問 健康推進課 (愛知川庁舎) ☎0749-42-4887